

平成 29 年 3 月 16 日

報道関係各位

東京都港区赤坂 1-11-44
株式会社 QLife (キューライフ)

人工膝関節置換術を受けた患者 96%「受けてよかった」
約 3 人に 1 人が「術後、特に痛みを除く治療や対策はやっていない」
～人工膝関節置換術に関する経験者・非経験者ギャップ調査～

月 600 万人が利用する日本最大級の病院検索・医薬品検索・医療情報サイト群ならびに医療者向けサービスを運営する株式会社 QLife (キューライフ/本社:東京都港区、代表取締役:有瀬和徳) は、人工膝関節置換術経験者(家族も含む)ならびに手術未経験の 60 歳以上の変形性膝関節症患者の合計 800 名を対象に、人工膝関節置換術に関する意識調査を実施した。調査はインターネットで 2 月 14～20 日にかけて行われた。

加齢や肥満が原因で膝の関節軟骨がすり減り、関節が変形することで痛みを生じる「変形性膝関節症」。軽症のうち痛みどめや湿布、ヒアルロン酸注射の治療やリハビリ、装具の装着で対応するが、重症例では手術療法が検討される。手術療法のひとつ、人工膝関節置換術は、痛みの原因となる変形した膝関節の表面を取り除き、人工関節に置き換える手術だ。痛みの原因部分を除去するため、痛みをとる効果が大きいといわれている。実際に手術を受けた患者は、手術をどう決断し、受けてみてどんな実感を抱いているのか。一方、膝の痛みを抱える変形性膝関節症患者は、将来、人工関節を入れることについてどう考えているのだろうか。

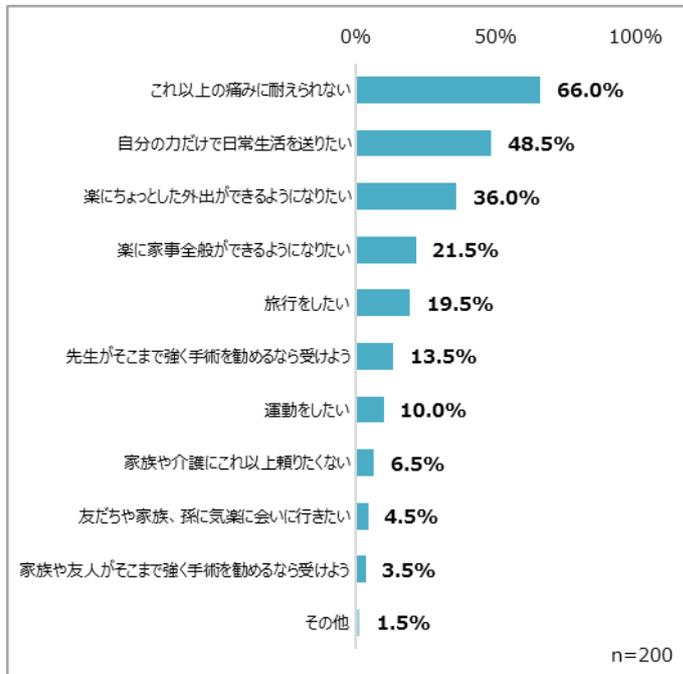
今回の調査結果から、以下のことが分かった。

- ・人工膝関節置換術を受けた患者 「これ以上の痛みには耐えられない」ことから手術を決断
- ・96%が人工膝関節置換術を受けて「よかった」と回答。56.0%は「適切なタイミングで受けられた」
- ・手術を受けていない変形性膝関節症患者が、膝の痛みでできないこと 「階段の昇降」「運動」「立ち座り」
- ・手術を受けていない変形性膝関節症患者の 54.0% 将来、人工膝関節置換術を受けるかどうか 「わからない」
- ・人工膝関節置換術後は、治療や介助・対策は「特になし」35.5%
- ・62.0%が医師の影響で人工膝関節置換術を受ける決意

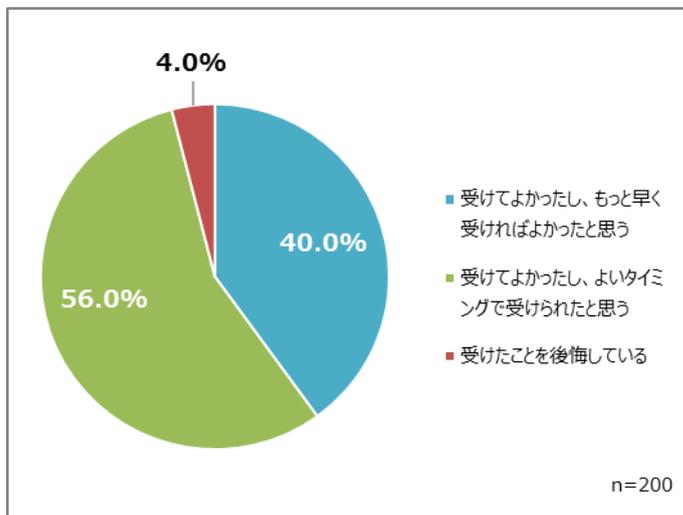
なお、調査結果報告書は http://www.qlife.co.jp/news/170316qlife_research.pdf からダウンロード可能。

【調査結果詳細】

人工膝関節置換術を受けた患者「これ以上の痛みには耐えられない」ことから手術を決断
 「これ以上の痛みには耐えられない」(66.0%)が最多。決断にあたり、62.0%が医師から影響を受けて気持ちを固めていた。

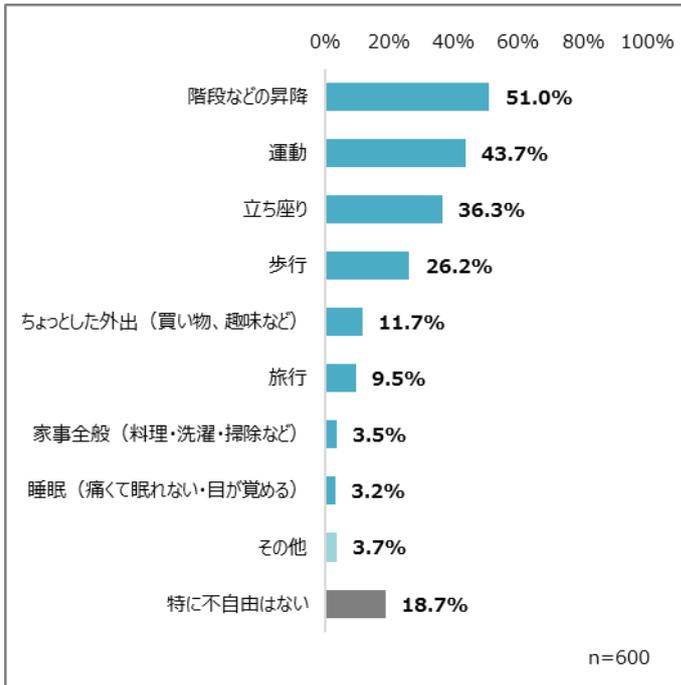


96%が人工膝関節置換術を受けて「よかった」と回答。56.0%は「適切なタイミングで受けられた」「適切なタイミングで受けられたと思う」と答えた患者は56.0%。「もっと早く受ければよかった」も40.0%いた。手術を受けてよかったことは、「痛みが減った」(69.5%)。「前より楽に歩けるようになった」(58.0%)、「自分の力だけで日常生活を送れるようになった」(34.0%)、「前より楽に外出できるようになった」(22.5%)と続き、QOLが向上していることがうかがえた。



手術を受けていない変形性膝関節症患者が、膝の痛みでできないこと「階段の昇降」「運動」「立ち座り」

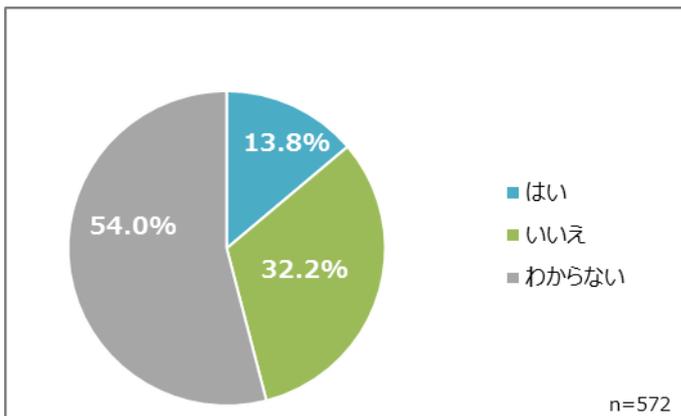
51.0%が「階段などの昇降」と回答。さらに43.7%が「運動」を挙げた。「立ち座り」は36.3%だった。現在受けている治療に対して、52.5%が何らかの不満を抱いており、その理由は「痛みがとれない」(30.0%)「治療がいつまで続くのか説明がない」(21.7%)「改善しているのかどうか説明が少ない」(15.3%)だった。



手術を受けていない変形性膝関節症患者の54.0% 将来、人工膝関節置換術を受けるかどうか「わからない」

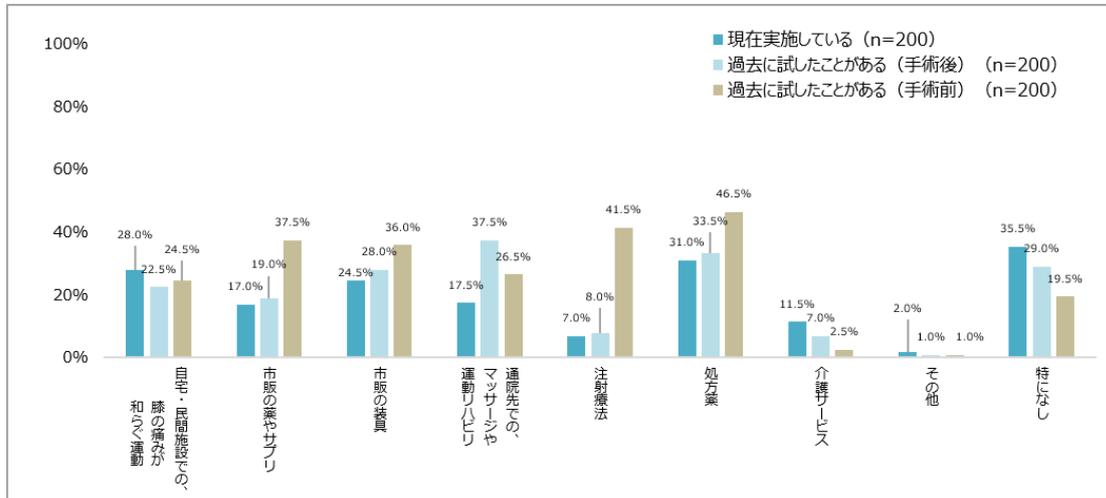
将来的に症状が悪化し、医師から人工膝関節置換術を勧められた場合に、手術を「受ける」と回答したのは13.8%だった。「受けない」は32.2%、「わからない」との回答が54.0%と最も多かった。ただし、手術について医師から説明を受けたことがある患者は、31.8%が今後手術を「受けたい」と回答。一方、医師からの説明がなかった患者は20.7%が「受けたくない」と回答した。

人工膝関節置換術に対しては、「費用が高そう」(34.3%)、「手術療法に不安や抵抗がある」(25.7%)、「リハビリテーションが長い、大変そう」(24.3%)というマイナスイメージを抱いていた。



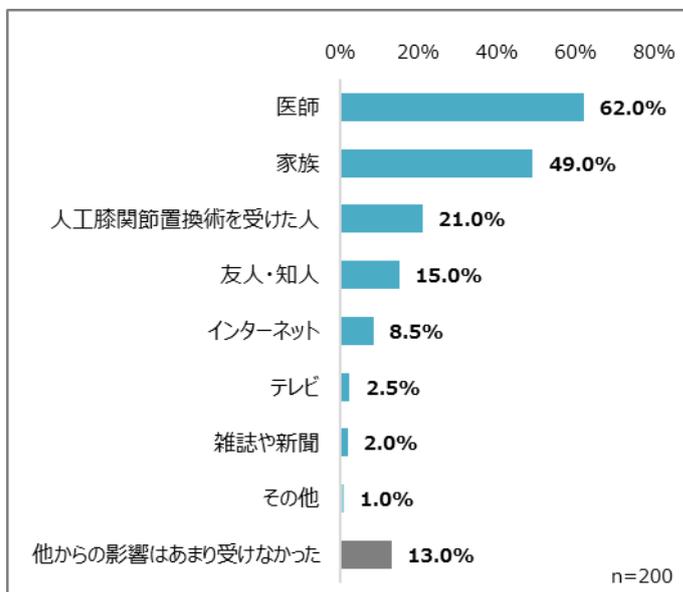
人工膝関節置換術後は、治療や介助・対策は「特になし」35.5%

人工膝関節置換術を受けた患者の35.5%は、現在実施している治療や介助・対策は「特になし」と答えた。一方、人工膝関節置換術を受けていない患者は84.7%が何らかの治療や介助・対策を行っていた。



62.0%が医師の影響で人工膝関節置換術を受ける決意

人工膝関節置換術を受けた患者が影響を受けた人は、62.0%が「医師」、次いで「家族」(49.0%)が多かった。人工膝関節置換術を受けていない患者は、「他からの影響を受けない」と答えた患者が26.5%と、人工膝関節置換術を受けた患者の13.0%に比べて多かった。





▼調査主体

株式会社 QLife(キューライフ)

▼実施概要

(1) 調査対象:

1. 人工膝関節置換術経験者・本人もしくはその家族
2. 60歳以上の変形性膝関節症患者

(2) 有効回収数:

1. 200名(本人78名/家族122名)
2. 600名

(3) 調査方法: インターネット調査

(4) 調査時期: 2017/2/14~2017/2/20

<株式会社 QLife の会社概要>

会社名: 株式会社 QLife(キューライフ)

所在地: 〒107-0052 東京都港区赤坂1-11-44 赤坂インターシティ10F

代表者: 代表取締役 有瀬和徳 設立日: 2006年(平成18年)11月17日

事業内容: 健康・医療分野の広告メディア事業ならびにマーケティング事業

企業理念: 医療と生活者の距離を縮める URL: <http://www.qlife.co.jp>

本件に関するお問い合わせ先:

株式会社 QLife 広報担当 田中 TEL : 03-6685-2515/E-mail : info@qlife.co.jp